

自己評価報告書
2018年度

2019年4月

学校法人 読売理工学院
専門学校 読売自動車大学校

はじめに

専門学校は、教育機関として、在学生がよりよい教育を受けることができるよう、学校運営・教育活動等について常に改善を図り、教育の質の向上に努める責任がある。また、学校運営・教育活動等の学校情報を公表し、学生・保護者をはじめとする学校関係者に対し、説明責任を果たすことが求められている。

平成 19 年 6 月の学校教育法改正に伴う「学校評価に関わる学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」の公布により、専門学校における自己評価と結果の公表が専修学校設置基準上の義務となり、学校関係者評価の実施と結果の公表が努力義務となった。

平成 16 年度より本校独自の評価項目を設定し実施してきたが、平成 26 年度末に本校が「職業実践専門課程」の認定を受けたことを機に、文部科学省のガイドラインに基づいた自己評価の様式に沿ってまとめることとした。

「学校関係者評価」を今後も実施することで学校運営の改善に努めるが、さらなる教育の質の向上に向けて「第三者評価」についても前向きに検討する必要があると考える。

1. 学校の教育目標

本学院の理念・目的は学院設立趣意書に「時代の要請に奉仕するためには、大学と工業高校の中間に行く徹底した実技教育を目的とする。」(1969 年 11 月 20 日)と定めている通り、職業に特化した高等教育機関を目指し、読売新聞社が設立した。

本校では充実した職業教育を実施することはもとより、人間性の成長を促すことにより社会で貢献できる人材を育成する全人教育も重要な目的とし、学校運営・教育活動等について改善を常に心がけ、教育の質の向上に継続的に努めることが目標と決意する。

この決意に基づき「自己点検評価」を平成 16 年度より行っているが、平成 26 年度に本校が「職業実践専門課程」の認定を受けたことを機に「学校関係者評価」を実施している。

今後も「学校関係者評価」により学校運営の改善に努めるが、「教育課程編成委員会」を通し実践的な教育内容と人間力の向上を目指し継続的に取り組む。

これと並行して「読売式教育メソッド」を制定し、学生の「人間力」「専門力」「資格取得力」「就職力」「基礎学力」をさらに向上させるために改善を進めているが、教員の教育力・人間力の向上も不可欠である。教育力向上を実現するためには、現状の教育内容の客観的な評価が欠かせず、今後は「第三者評価」に対する前向きな取り組みが必要と考えている。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

卒業生が、「最高の教育を受けることができた」と思えるよう、「人間性の成長」と「技術・知識のレベル・アップ」を実感できる教育を目標としている。その実現には、教科書に縛られず、より学生に興味を喚起する授業内容を目指し、教育手法の継続的な工夫と、教員の教育力の向上を継続的に迫及する取組みが重要となる。

自動車の技術的進化は、近年ますます速度を増している。教育内容を技術進化に対応したものとするためには、学外での教員の技術研修をより積極的に実施することと、企業現場へ教員を派遣し現在の整備体制や企業が求める人材像を具体的に把握するなどの対応が必要であり、今後の課題である。

また、研修等で教員が理解した新技術を授業内容に反映する場合は、理解しやすく興味を持たせる授業内容を工夫しなければならない。そのため、教員は新技術の裏付けとなる基礎工学等の理解度を向上させることも今後検討する必要がある。

「教員は自動車エンジニアの先輩として、後輩である学生を大切に育てる」という校風を大切にし、教育を行う過程に力点を置き、理解しやすく興味を持たせる授業内容を実施するために、継続的な努力を惜しまない。「解り易い授業を工夫する」ことは、学生の学習意欲を励起し、授業を通して学生の人間性の向上にも寄与し、さらには学生の定着率向上にも大きな力を持つ重要な取り組みである。

卒業率、国家試験合格率を教育成果ととらえ、学生に対する責務とする視点も忘れない。

3. 評価項目の達成及び取組状況

各評価項目に対する評価責任者は、次の通りである。

- (1) 教育理念・目標： 校長
- (2) 学校運営： 本部長
- (3) 教育活動： 両学科長
- (4) 学修成果： 両学科長・就職委員長
- (5) 学生支援： 両学科長
- (6) 教育環境： 教務委員長
- (7) 学生の受入れ募集： 広報委員長
- (8) 財務： 本部長
- (9) 法令等の遵守： 本部長
- (10) 社会貢献・地域貢献： 学生委員長
- (11) 国際交流： 事務局長

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標 3.4 (←3.6←3.6←3.6←3.4←3.4)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色はなにか	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界ニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

「読売式教育メソッド」に設定した教育目標（目標とする学生像）をより具体的に明確化し、カリキュラムに落とし込む必要がある。この作業を行うことで教育成果（アウトカム）を明確に評価することが可能となる。

自動車整備士教育が特色ある職業教育そのものであるが、自動車技術と整備技術の急速な進歩により、今後自動車整備事業に質の変化が起こると考えられている。今後の整備事業の変化を予測した整備士教育を取り入れることが求められている。企業との教育連携をさらに充実させ、教育内容の見直しに取り組むこととする。

② 今後の改善方策

カリキュラム編成の検討段階では、新技術を取り入れた教育内容に重点が置かれることになるが、これと並行して、基礎工学的な教育をより充実させ理解力と応用力を養成することが1級整備学科に必要である。1級課程だけでなく、自動車整備学科の学生に対しても、お客様対応の能力を企業は求めている。実習授業の中にコミュニケーション能力を養成する、シミュレーションなどを取り入れることを検討すべきである。

業界で求められる人材を育成する姿勢の維持が重要であり、育成人材像の明確化がカリキュラム作成の上でも必要である。今後は、二級課程1・2年次の育成人材像と一級課程3・4年次の育成人材像を明確にし、2年次修了までと4年次修了までに身に付けるべき能力「～ができる」を明確にし、確実な能力のステップアップに向けた教育を工夫する。すなわち、二級課程で求められる整備士としての基礎能力と、一級課程で必要な総合的な応用能力を確実に身に付けた人材を育成する体制とする。現状に即した職業教育を行うために、教育における企業連携の強化に取り組む。

③ 特記事項

教育課程編成委員会での検討に基づき、エイミングなどの自動運転に関する実習内容を1級整備学科で導入した。1級整備学科、自動車整備学科ともに企業連携実習の導入を積極的に実施する必要がある。

(2) 学校運営 3.8 (←3.5←3.5←3.5←3.0)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・目標等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

① 課題

高校生の車離れによる日本人の入学減少。留学生の入学が増える一方で、日本人の減少に歯止めがかからない。他校に比べた地の利の良さに加え、就職先の企業、本校卒業生に協力を仰ぎ、就職後の姿を具体的にわかりやすく説明する機会を設けている。今後は自動車業界の未来、展望を入学志望者だけでなく、保護者にも説明する場を増やし、専門学校の強みを訴えたい。

② 今後の改善方策

留学生の増加に対応するため、留学生支援ルームを通じて出入国管理局への対応など生活面での指導を強化する。日本語学校と連携を強化し、除籍・退学を招くアルバイトのオーバーワークを未然に防ぐべく、入学前から啓発する。

④ 記事項

特になし。

(3) 教育活動 1 級整備学科 3.6 (←3.6←3.6←3.5←3.4←3.5)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置付けられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置付けはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員的能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 課題

メーカー主催の研修等は、夏休みなどの期間に実施しているため比較的受講する機会を取れるが、板金塗装や診断機の講習は、平日開催のため、今の人員体制では、数日間にわたる研修などにはなかなか参加できないのが現状である。

② 今後の改善方策

授業の日程を調整して、出来る限り知識習得の機会を得られるようにする。また、学生に対する研修であっても、教員側も同時に受講し、スキルアップに繋がるようにする。

③ 特記事項

特になし

(3) 教育活動 自動車整備学科 3.4 (←3.4←3.4←3.3←3.2←3.2)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置付けられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置付けはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

職員の能力開発のための研修等に関して、教職員個々の仕事量が増加（主に学生指導に対する）し、反面ワークライフバランス見直しの機運により、空き時間での研修会等の実施、参加が難しくなっている。

② 今後の改善方策

学生向けの企業研修会に、教職員も参加させていただく。
夏季など学生の長期休暇に合わせて、校内で研修会を実施するなど対策が必要。

③ 特記事項

キャリア教育の一環として、ビジネス・マナーをカリキュラムに取り入れている。

(4) 学修成果 1級整備学科 3.0 (←3.2←3.0←3.0←3.4←3.6)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	②	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

① 課題

今年度の国家試験問題は、近年と傾向が異なり、過去問題を重点的に出題されていたが、近年の傾向で試験対策の中で難易度を上げすぎてしまった結果、基本的な部分を十分理解させることができず、結果、思うような合格率に達することができなかった。

② 今後の改善方策

難易度の高い問題を出題することも必要ではあるが、基礎的な部分や過去問題などを十分に理解させることを重要視して教育を行っていく必要がある。

③ 特記事項

特になし

(4) 学修成果 自動車整備学科 3.0 (←3.0←3.0←2.6←3.0←3.4)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 ② 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 課題

退学率の低減は努力しているものの、学生が多様化していることに十分に対応できていない。

留学生の増加により、今後の就職先として外国籍の採用を前向きに検討して頂けるよう、企業への働きかけや相談を受け、現在の就職率を維持する活動が必要となる。また、内定者の内定辞退などが発生しないよう、意識を低下させない学生指導も今まで以上に必要となる。

② 今後の改善方策

基礎学力の低い学生に対するフォローに力を入れるとともに、留学生の日本語能力の向上と、生活指導を日本語教員、留学生相談室と連携してさらに強化する。

③ 特記事項

特になし

(5) 学生支援 1級整備学科 3.1 (←3.1←3.3←3.4←3.3←3.5)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	②	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	②	1

① 課題

高校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組は、募集活動の一環である模擬授業やオープンキャンパス等で一部該当する面もあるが、受け身の体制であり積極的な連携は行われていない

② 今後の改善方策

近年の自動車離れもあり、高校生の自動車に対する興味も薄れてきているため、将来の就職先である自動車ディーラーなどとの連携で高校生に魅力をアピールしていくことも検討事項である。

③ 特記事項

--

(5) 学生支援 自動車整備学科 3.3 (←3.3←3.4←3.3←3.4←3.4)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているかという点は、実行できていない。

② 今後の改善方策

工業高校とりわけ自動車整備関連の学科を設けている高校が減少する状況で、高校・高等専修学校との連携は困難であると思う。むしろ小中学生に向けた、自動車整備士に関する職業理解を得るような、体験授業などを模索すべきではないか。

③ 特記事項

特になし

(6) 教育環境 3.7 (←3.7←3.7←3.7←3.3←3.3)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

- ・実習スペースの不足
- ・設備、教材の老朽化
- ・経年劣化、老朽化による 411、611 実習場の冷房能力の低下

② 今後の改善方策

- ・スペースの有効利用のため、不要品の廃棄、外部倉庫の利用、同時に実施する実習内容の検討
- ・優先順位を付け設備・教材の改善を実施
(設備等：フロアジャッキ、バイク用スタンド、エア工具、実習用プロジェクター、PC、作業機の追加。112、212 実習場に部品管理棚の設置、411・611 実習場エアコンの交換。)
- (教材等：ハイブリッド実習用車両の交換)

③ 特記事項

(7) 学生の受入れ募集 **3.3** (←3.3←3.3←3.7←3.7←3.6)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・学生募集は、適性に行われているか	4 ③ 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

対外的な本当の意味での広報活動が弱いように感じるので、思い切った戦略が必要であると考えます。留学生が益々増加し日本人割合が減少している中、進路ガイダンスや高校訪問、オープンキャンパス、現状あるものの質の向上は勿論、それ以外にも日本人割合を増加させる方法を考える必要がある。予想した通り留学生増加による教職員の負担が増加していると感じます。ある程度の予測のもと対策を講じたが、まだやれることはないか考える必要があると考えます。

② 今後の改善方策

インターネット（SNS、インスタグラム、動画サイト）を利用した広報活動を強化する。新聞、雑誌などの紙媒体による広告や、屋外看板の設置で本校の存在を認識してもらう。高等学校に本校のチラシやポスター、パンフレット等を常に高校生の目に触れる場所に設置させて頂けるようお願いする。オープンキャンパスのメニューをさらに増やし、宣伝しやすいようにする。
留学生対策として特に実習授業については、安全面を考慮し非常勤講師を増やすなどの対策が必要になると考えます。

③ 特記事項

--

(8) 財務 3.8 (←3.5←3.5←3.5←3.5←3.2)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・財務について会計監査が適性に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

読売理工医療福祉専門学校と合わせて、2校で入学者500人、在學生1000人の維持による収入の確保と安定経営を持続する。

② 後の改善方策

学費収入以外の事業収入の増収と事業の拡大をめざす。

③ 記事項

特になし。

(9) 法令等の遵守 3.8 (←3.8←3.8←3.8←3.5←3.5)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

理事会、評議員会の開催を本年度より5月開催に変更し、経営情報の開示を早める体制とした。

② 今後の改善方策

より適切かつすみやかな経営情報の開示に努めていく。

③ 記事項

教職員の労務管理、留学生の生活指導にっそう注力する体制とした。

(10) 社会貢献・地域社会 2.7 (←2.7←2.7←2.7←3.0←3.0)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	②	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

①課題

<ul style="list-style-type: none"> ・企業連携において資格講習や講座の開講はしているが、地域との連携は不足している。 ・健康増進法改正に伴い、成人学生の喫煙マナーを身に付けさせる必要がある。 ・一教育機関として、地域への貢献ができないか（小学校などへの出前授業等）検討
--

②今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育機関として地域へ貢献も検討するが、一部署での活動には限界がある。 ・三十三間通り商店街と連携し、文化祭において歩行者天国利用の協力を依頼。 ・社会人意識を養うためにも、学校外での部活動、ボランティア活動も積極的に検討する。

③特記事項

<p>例年実施している、日本テレビ系の24時間TVのボランティア活動において、近隣の清掃活動を実施しており地域との連携を心がけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の防犯や安全について、区役所などの公共機関との連携を行い、一昨年10月より江東区の「こども110番の家」に登録し、地域活動に積極的に参加。
--

(11) 国際交流（必要に応じて） 3.8 (←3.5←3.3←3.0←3.0←2.7)

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っているか	4 ③ 2 1
・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④ 3 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	④ 3 2 1

① 課題

年々増加している留学生の大半は、すぐに帰国しないで日本に残って自動車ディーラーなどで自動車整備士として働くことを希望している。仕事をする上で必要な日本語コミュニケーション能力をさらに高めて実業界に送り出すことが引き続いての課題となる。

② 今後の改善方策

日本語能力試験（JLPT）N1、N2の合格に向け日本語授業の質の向上をさらに図ると同時に、オーバーワークなどによるビザ更新トラブル防止に向け生活指導を強化する。

③ 特記事項

留学生教育をより充実させるため、入学から卒業までの学生生活の道標となるロードマップを2019年度に作成する。具体的には、入学前に課題を出して自動車整備士の職業イメージをまずつかませて、その後の各段階での到達レベルや学生像の目安を示し、学習効果向上を目指す。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

平成30年度は、継続的な目標として、企業連携を通して実践的な実習内容を取り入れること、「読売式メソッド」をより具体化しカリキュラムへ落とし込むこと、退学率の改善を目標とし、取り組んできたが、今後も継続して取り組むべき課題である。

二級課程では二級国家試験の高い合格率を維持することができた。一級課程の国家試験結果は、全国平均を大幅に超える合格率ではあるが100%を達成することができなかったが、昨年を上回る結果を残せた。対策授業の見直しや、授業内容や教育計画についても再検討し、さらに良い結果を出すために具体的な取り組みを実施することが次年度の課題である。

一級課程においては、実践的な教育内容を目指し、企業に協力いただき新技術に関する実習を積極的に取り入れることができた。今後は、評価を含めた企業連携授業の実施を目指す必要がある。

また、電気を石油に替わるエネルギーととらえ、EV普及と充電インフラ整備が政府の方針となっていることを受け、一級整備士課程のカリキュラムの中に必修教科として「第二種電気工事士」の資格取得のための教育を実施している。目標の合格率を得ることができなかったため、合格率を高める効果的に授業体制の確立が次年度の課題となった。

二級課程での実習授業では、企業による新技術に関する講習を実施した。学年全員に対する企業実習は学生数が多く困難であり、今後の検討課題であり、職業に特化した教育を実現する方向性を持ち続ける必要がある。

当年度は、一級課程の2年次を除き、他の全学年で退学率を減少させることができ、本校全体としては、前年度より大幅に定着率を向上させることとなった。特に1年次の退学者を少なくできたことは評価するに値する。学生の退学率が低いことは、教育内容、指導体制、学校運営など、「在校生による学校の評価」が高いことの表れとして捉えるべきである。今後も、より充実した教育体制・学校運営を目指し継続的に努力するとともに、臨床心理士カウンセラーとも連携して、学生の学習意欲の向上対策を広い視野で検討することとする。

「読売式教育メソッド」は、「人間力」「専門力」「就職力」「資格取得力」「基礎学力」の五つの柱を明文化し、創立以来の伝統である「面倒見のよさ」「少人数主義」に代表される教育方針を、学生にどんな力が身につくかという観点からまとめ直したもので、本校の教育手法の特色と強みをわかりやすく打ち出したものである。今後は、本校が育成したい人材像をより明確にし、それをカリキュラムに反映する取り組みを今後も継続的に取り組む必要がある。

学生募集に関しては、少子化が進む厳しい状況下での活動であり、昨年度実績を上回ることができたが、留学生の増加によるところが大きいため、長期的に安定した学生募集を行う上で、女性を含めた日本人学生の募集強化に努めることが重要であり、次年度以降も継続的な課題である。